

令和5年度朝来市図書館協議会

- 1 日 時 令和5年12月19日(火) 15:30～17:15
- 2 場 所 朝来市和田山生涯学習センター 第1研修室
- 3 出席委員 岡田会長・森田委員・大友委員・川見委員・巻野委員
中島委員・足立委員・谷口委員・平岡委員
欠席委員 高井委員
出席職員 村上(生涯学習課課長兼図書館)館長・垣内副課長・谷口主査・小山主事
- 4 内 容 (1) 令和4年度朝来市図書館の利用状況について
(2) 朝来市図書館運営計画の取組みについて
- 5 会議の要旨 別紙のとおり

○会長

「(1) 令和4年度朝来市図書館の利用状況について」、事務局の説明をお願いします。

○主事

(令和4年度朝来市図書館の利用状況についての説明)

○会長

「(1) 朝来市図書館運営計画の取組みについて」、事務局より説明をお願いします。

○副課長

(朝来市図書館運営計画の取組み項目についての説明)

「1 図書館は地域の情報拠点 (1) 資料の整備 ①資料の収集・保存」で、「継続的な収集とともに計画的な廃棄を実施することで常に新鮮な棚づくりと偏りのない蔵書構成を目指す。」としております。和田山、あさごの2館で、4月から現在までに3,137冊受け入れをしており、2,802冊は新刊資料、335冊は寄贈資料となっております。

「②電子書籍」で、「電子書籍の導入及び地域資料等のデジタル化と公開の検討。」としております。現在、電子書籍を導入している図書館から状況を聞き、情報収集をしております。また、郷土資料をデジタル化して公開する方法も検討しております。

「③雑誌新聞」で、「雑誌や新聞は継続的な収集を原則とする。雑誌は5年に一度程度全体的なバランスを考えて収集内容を見直す。」としております。継続購入が原則となるので、いろんなジャンルの物を使いやすいよう、バランス良く収集していきます。

○委員

電子書籍を導入する上でメリットやデメリットは何がありますか。

○副課長

プランによっては、同じ本に複数人同時にアクセスできるものがあります。デメリットとしては、費用面に加え、タイトルが限定され、幅が狭くなることが挙げられます。

○会長

郷土資料のデジタル化とは具体的にはどのようなことですか。

○副課長

現在図書館が持っている紙の郷土資料をスキャナーに通し、デジタル化をしてネット上に公開、閲覧ができるようにすることです。

○副課長

「(2) 施設の整備 ①改修・長寿命化」で、「和田山図書館、あさご森の図書館ともに経年劣化が進んでいるので、計画的な改修と長寿命化を図る。」としております。令和4年度に、あさご森の図書館のLED化、Wi-Fiの設置を行いました。継続的な改修、長寿命化を考えております。

「②図書館システム更新」で、「定期的な更新により利便性の向上やコスト削減に努める。」としております。令和4年度に図書館システムを更新しました。職員、利用者共にできることが増えていきます。現状や要望を踏まえて、より良い内容にしていきます。

「③滞在型利用」で、「市民の交流やくつろぎの場となるよう施設の利用方法について検討する。」

としております。滞在型の利用ができるスペースの確保が難しいため、建物自体の改良が必要な部分もありますが、今ある中でできることを考え、計画していきます。

「④サイン」で、「利用者自身で借りたい本にたどり着けるように本の置き場所表示サインや、OPAC検索が容易になるよう見直す。」としております。サインの種類を増やし、形を変え、目立つようにしていけたらと考えております。

「⑤生野図書室」で、「令和8年度中の生野新庁舎稼働に併せて、新しい図書スペースの利用方法を検討する。」としております。打ち合わせを行い、より利用しやすくなるよう検討しております。

「(3) 情報発信 ①HP等」で、「図書館の活動や読書案内等の情報発信。HPや市広報に加え、SNSやデジタル媒体の活用を検討する。」としております。図書館のイベント等の情報を、図書館のHPで発信しております。また、SNSの活用を検討します。

「②機能PR」で、「新システムの導入により、利用者自身でできることが増えている。それらのPRを行う。」としております。まずはパスワード登録をしていただけるよう案内しております。

「③利用ガイダンス」で、「新機能のPRに併せて、それらを利用者自身で使いこなせるよう、利用ガイダンスを実施する。」としております。わからないときに窓口で聞いていただく方向で検討しています。同様の問い合わせが多ければ、講座の開催も検討します。

○委員

SNSの活用について、新しく入った本や、読書感想文におすすめの本、ランキングを掲載するだけで情報発信になると思います。

○副課長

「2 課題解決と生涯学習に図書館を (1) 読書活動 ①利用促進」で、「誰もが来館しやすい図書館を目指す。イベント等を開催して利用を促進するとともに、飽きられないよう工夫する。」としております。イベントについては、毎週土曜日のおはなし会をはじめとして、工作会、生き物探し、読書部等を実施しました。図書館は、利用者の年代が幅広いため、すべての年代の方が図書館利用のきっかけになるようなイベントを考えております。

「②ブックリスト配布」で、「市内のこども園、小中学校に通う児童に年2回のブックリストを配布し、読書推進を行う。誌面をリニューアルする。」としております。来年度から新しい様式になります。その中に、参加型のコーナーを掲載し、一方的ではないブックリストへの変更を検討しております。また、デジタル版の検討もしていきます。

「③特設コーナー」で、「季節的事象や、市役所各課からの啓発活動に関連する特設コーナーを設置し、学びの機会を提供する。」としております。現在までに、啓発活動に関する展示を5回行いました。依頼の合間に、他の展示も行っております。

「④配本サービス」で、「高齢者施設、福祉施設、学習支援施設等への配本サービスを計画する。」としております。未検討としておりますが、ボランティア活動と併せて検討します。

○委員

啓発活動に関する展示なのですが、和田山図書館のコーナーが、トイレに行く人しか通らない場所なので、なかなか目に入らなくてもいいと思います。

○副課長

「(2) レファレンス ①サービスPR」で、「レファレンスサービスの回答事例を館内の掲示等で紹介し、サービス内容をPRする。」としております。質問と回答を館内に掲載しております。簡単なことでも聞いていただけるような雰囲気づくりをしていきます。

「②利用ガイダンス」で、「資料検索のコツやヒント、図書館の使い方についてなどの利用ガイダンスを実施する。」としております。未検討としておりますが、まずは仕組みからわかりやすくお伝えできたらと思います。

「③職員の育成」で、「調べものに活用できる資料の収集と、それらを効率よく利用できるよう司書を中心に職員研修を行う。」としております。研修を行い、職員が間違いなく案内ができるよう体制を整えていかないといけないと考えております。

○委員

レファレンスの利用ガイダンスについて、小学生が社会見学に来た時に、調べ学習の方法のような感じで実施されたらそれがガイダンスになるのではないかと思います。

○副課長

社会見学に来ていただくのですが、なかなか時間がなく、施設見学で終わってしまうことがほとんどです。学校の先生とも内容を検討したいと思います。

○会長

社会見学には、あさご森の図書館は旧朝来町内、和田山図書館は和田山町内の小学生が来られるのが基本ですか。

○副課長

基本的には町内の学校が多いです。公共交通を利用して来館されることもあるので、電車等の時間を考えると長時間の滞在は難しいです。

○副課長

「3 図書館で未来を担う人づくり (1) 子育て支援 ①環境、資料整備」で、「子ども連れでも安心して利用できる施設の整備。子育てに関する資料を集めた常設コーナーの設置。」としております。授乳室を令和3年度に設置しました。また、育児の本の分類のところに、お子さんの病気や教育に関する本をまとめた子育てコーナーを設置しました。

「②ブックスタート」で、「コロナ禍以後、ブックスタート事業は会場の都合により思うような活動ができていないため、実施方法を再検討する。」としております。ブックスタートとして、朝来市では8か月児健診に出向き、絵本を2冊入れたブックスタートパックをプレゼントしております。これまでは、1つの会場で健診を実施していたのですが、コロナ禍以後、部屋をわけて実施しております。この実施方法で今までのような活動ができないかと検討をしております。

「③親子で図書館」で、「赤ちゃん向けおはなし会のPRと子育て世代の利用促進を図る。」としております。赤ちゃん向けおはなし会を月に1回実施しており、ブックスタートの際に、ご案内しております。

「(2) 学校連携 ①団体貸出、社会見学」で、「年代に合わせた資料の収集や団体貸出、施設見学の受け入れ等により、学校との連携を図る。」としております。こども園や学校に図書の貸出や、社会見学の受け入れをしております。

「②読書案内、利用促進」で、「年2回のブックリスト配布による読書推進。子供向けイベント等の実施による図書館の利用促進。」としております。利用促進として、小学校1年生向けにクラスを通じて貸出券作成のお知らせをしております。

「③出前授業」で、「校内での読み聞かせやブックトーク等の実施。校内での読書推進活動についての支援。」としております。本年度は、生野小学校と竹田小学校でブックトークを行いました。

「(3) YAサービス」で、「年2回のブックリストの配布、中学2年生のトライやるウィーク受入。」としております。YAとは、13～19歳くらいの年代を指します。トライやるウィークに来ていただき、窓口業務等を体験いただいております。

「②コミュニティづくり」で、「トライやるウィーク参加生によるYAコーナーの設置。高校生の探求授業への協力と事業共催。」としております。YAコーナーで、中学生が同世代のみんなにお勧めしたい本を紹介しております。また、生野高校生にあさご森の図書館の利用促進について検討していただいております。今年度はポイントカードを作成し、3回本を借りられた方にオリジナルしおりをプレゼントしました。このような活動が短期間ではなく、年間通じて実施できるよう検討していきます。

「③利用ガイダンス」で、「正しい情報の取捨選択ができるように、図書館の使い方や資料の調べ方、情報リテラシーを学ぶ機会の検討。」としております。未検討としておりますが、正しい情報が得られるような内容を検討していきます。

「4 図書館からまちづくりを (1) ボランティア ①組織の育成」で、「図書館活動を支えてくれるボランティア団体の育成を図る。」としております。他館の取り組み状況を参考に、活動内容について検討を進めております。

「②研修交流」で、「ボランティア活動支援のため、研修会や交流会の実施。」としております。活動自体が始まっておりませんので、詳細については未検討です。

「③依頼事項の整理」で、「図書館の運営が効率的になるよう、支援を必要とすることの洗い出しと提案。」としております。活動の頻度や内容について検討しております。主に、おはなし会や行事のお手伝いをしていただけたらと思います。

「(2) 各種団体 ①活動支援」で、「地域で読み聞かせ等の活動をされている方たちへ団体貸出や選書のアドバイスを行う。」としております。読み聞かせ団体への貸出や、年代や季節に合わせた本を選ぶお手伝いを引き続き行っていきます。

「②地域活性化支援」で、「まちづくりにつながる活動の支援として、情報の収集や提供、資料の貸出を行う。支援内容の検討。」としております。未検討としておりますが、内容の検討や、支援を必要とする人へのPRを考えていきます。

「③広域連携」で、「但馬地域や3市（福知山市、丹波市、朝来市）の図書館との連携を強化し、地域活性化を図る。」としております。本年度は、3市で研修、情報交換会、本の展示を行いました。

「④雑誌スポンサー」で、「図書館で収集している雑誌のスポンサーを募り、企業の広告媒体として活用してもらおう。」としております。現在、5社が8誌のスポンサーとしてご活用いただいております。